

## みらい探究【みらいプロジェクト】評価基準

観点/評価		1	2	3	4
A	プレゼン資料 (Google Slide) (PowerPoint)	文章表現のみで、「見せる」資料となっていない。	図やグラフ、写真等を用いて、見やすい資料である。	図やグラフ、写真等を効果的に用いて、伝えたいことが明確になっている。	文章表現と図やグラフ、写真等が関連づけられていて、 <u>目的から結論までの流れが表現されている。</u>
B	探究の深さ	調べただけで終わっている。独自の考察が述べられていない。	明確な目的・仮説が立てられており、根拠や具体性には欠けるが、一応の結論が導き出されている。	明確な目的・仮説が立てられており、十分な根拠や具体例をあげて、結論に結びつけられている。	論理的な探究活動がなされており、その上で <u>独創的で現実性のある提案がなされている。</u>
C	発表の態度	発表原稿やプレゼン資料に顔を向けたままの発表になっている。	聞き手を見る回数は少ないが、声量は十分である。	聞き手に対して語りかける発表となっている。	グループとして、聞き手に訴えかける発表であり、ジェスチャー等、 <u>聞き手を引きつける工夫が見える発表になっている。</u>
D	質疑応答	質問に対して準備が出来ていない。	質問に対して答えるが、論理的な回答となっていない。	質問に対して、根拠をもとに明解に答えることができる。	質問に対して根拠をもとに明解に答え、さらに質問者に問いかけるなど、 <u>討論の形がとれている。</u>